

地域活性化伝道師プロフィール		分野		農・林・水産業		観光・交流		環境		まちづくり	
ふりがな		えちご けいこ									
氏名		越護 啓子									
所属	名称	(社)離島総合研究所									
	役職	ディレクター									
連絡	住所 (非公開)	〒 - -									
	連絡先	(公開)	E-Mail echigo.keiko[アットマーク]gmail.com								
		(非公開)	TEL -	FAX -							
	連絡方法	E-Mailでお願いします									
略歴		<p>大手鉄鋼会社、新聞社を経て結婚。専業主婦子育てに専念。子どもたちの未来のために地域との関わり方や在り方の重要性を知る。PTAや地域の青年会議所、お祭りイベントなどに積極的に参加。子育て終了後社会復帰。その後人材育成、商品開発コンサルタント会社ライジング社に入社。地方地域に活かして行く活動に入る。</p> <p>地域巻き込み映画製作法開発企画映画プロデューサー。2009年から杉野服飾大学「産業心理学」「新商品開発論」非常勤講師。内閣府特定友人国境離島地域プロジェクト推進元アドバイザー・復興庁被災地支援専門家・観光庁世界水準のDMO形成促進事業専門家・農林漁業成長産業化支援機構(A-FIVE)アドバイザー・地域活性化地域作り人材アドバイザー・他官公庁専門家。台湾民視TV「旅日達人秘笈」エグゼクティブプロデューサー。(株)リンクパートナー(鮮魚水産加工品の輸出事業)</p> <p>日本人生哲学感情心理学会会員・日本防災士協会会員防災士・マーケティングキャリア協会会員。</p>									
著作・論文等		<p>著作本・「喜力」</p> <p>取材本・「夢を仕事に変えた女性たちの成功本」(傍島恵子著)</p> <p>「パートナーシップマネジメント」橋口寛著</p>									
取組概要		<p>・福島県南会津町「地域競争ビジネス支援事業」伊藤園贈答用ミニトマトジュース開発・熊本阿蘇高菜漬け欧州輸出マーケティング事業(経産省)・埼玉県美里町・ときがわ町農産物商品開発ブランディング販促他、各地域にて商品開発多数・宮城県「新規学卒未就職者向け就労支援事業」人材育成プログラム開発制作・厚生労働省札幌市「ジョブスタート」プログラム開発制作・厚生労働省仙台市「地域情報化のためのinnovation人材育成プログラム」企画開発・愛媛県西条市合併記念事業製作映画企画開発・文科省全国生涯学習フェスティバル「まなびピアふくしま」メイン事業・県民巻き込み映画製作企画開発・洞爺湖サミット記念事業映像企画制作・東京都庁江戸開府400年記念「史上最大商店街まつり」メイン事業企画・八丈島滞在型観光モニターツアー業務委託・「国境離島交付金事業」礼文島、利尻島、三宅島、八丈島、青ヶ島、佐渡ヶ島、知夫里島、対馬、奄岐の島、五島列島、種子島、屋久島他事業支援多数・岩手県、宮城県、福島県事業サポート被災地支援多数 その他</p>									
メッセージ		<p>開発・ブランディング・人材育成・マーケティング戦略の立案を専門領域とする。農林水産では、フードロス問題の解決と、冷凍機の技術を活かした果実、魚介類の商品開発をすすめている。インバウンドとしては、台湾のテレビ局民視「日本の旅番組」の企画としてELLETVと連動し、日本の地域をデジタルでも紹介。コロナで番組を再放送したため2022年台湾人が一番行きたい国一位に日本が選出された。また、独自の流通にてシンガポール、タイ、ミャンマーなどの富裕層への輸出にも力を入れている。「小さく産んで大きく育てる」「学びの極意は遊び」の理念での人材育成の根源はマザリング(母性)。地方地域は、足し算でなく引き算で経済の血流を作ることが大事。そこにある、ゼロ円のモノに価値を見出す視点や、思考の転換を促し(人材育成)、時短で小さな結果をまずは作る(動機)ことから。そして「関係性の経済学」を探求し、関係性の経済活動を実践している。</p>									
関連ホームページ		離島総合研究所island-ri.jp 民視TV「旅日達人秘笈」 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=EuE2beRDAaI">https://www.youtube.com/watch?v=EuE2beRDAaI</a> (株)リンクパートナー <a href="https://link-gr.jimdofree.com/">https://link-gr.jimdofree.com/</a>				活動エリア		国境離島を含む 日本全国・台湾・東南アジア			

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。